

Retek® Data Warehouse Web 2.3.2



インストールガイド



企業本部

Retek Inc.

Retek on the Mall

950 Nicollet Mall

Minneapolis, MN 55403

888.61.RETEK (toll free US)

+1 612 587 5000

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

本マニュアルの全部または一部を、Retek Inc. (Retek on the Mall, 950 Nicollet Mall, Minneapolis, MN 55403) の書面による明示的な許諾なくして複製または配布することはできません。

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

欧州本部

Retek

110 Wigmore Street

London

W1U 3RW

United Kingdom

電話番号 (代表)

+44 (0)20 7563 4600

セールス窓口

+44 (0)20 7563 46 46

Fax: +44 (0)20 7563 46 10

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

Retek[®] Data Warehouse[™] は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

この情報は未公開であり、機密保持契約、企業秘密、およびその他の法律によって保護されています。出版に際しては、次の事項に準拠するものとします。

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

Retek 日本オフィス

〒107-0061

東京都港区

北青山 3-6-7

青山パラシオタワー 11F

+81 (0)3 5778-7620

Fax: +81 (0)3 5778-7640

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

カスタマサポート

カスタマサポート時間帯:

カスタマサポートは、電子メール、電話、Web アクセスによって 365 日、週 7 日間 (24 時間) ご利用いただけます。

選択したサポートオプション (スタンダード、プラス、プレミアム) によっては、特定のサービスの提供回数が制限される場合があります。重大度 1 の (深刻な) 問題の処理は、週 7 日間 (24 時間) ベースで行われ、問題が解決されるまで、アクティブメンテナンス中のすべてのクライアントは継続的に監視されます。

お問い合わせ方法 連絡先

インターネット (ROCS)	www.retek.com/support Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。
電子メール	support@retек.com
電話	米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) その他の地域: +1 612-587-5800 EMEA: 011 44 1223 703 444 アジア太平洋: 61 425 792 927
メール	Retek カスタマサポート Retek on the Mall 950 Nicollet Mall Minneapolis, MN 55403

カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム/モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)

目次

第 1 章 概要	1
要件	1
MicroStrategy バージョン	1
Retek Data Warehouse バージョン	1
データベース	1
Web サーバマシン	1
Intelligence Server マシン	2
クライアントマシン	2
サポートされている言語	3
ユーザ権限	4
RDW Web のアップグレード	4
RDW Web 2.x	4
RDW Web 1.0 または RDW EIS	4
第 2 章 RDW Web のインストール	5
設定ユーティリティの実行	5
ファイルのインストール	5
Web サイトの作成	5
第 3 章 MicroStrategy Web の設定	7
Intelligence Server の接続	7
AdminServers.xml ファイルのコピーまたは作成	8
第 4 章 RDW Web の初期化	11
既定のプロジェクトプロパティの初期化	11
付録 A RDW Web 設定チェックリスト	13
付録 B よく寄せられる質問	15
付録 C RDW EIS または RDW Web 1.0 の削除	17
データベースオブジェクトの削除	17
RDW EIS	17
RDW Web 1.0	18
仮想ディレクトリの削除	18
RDW EIS	18
RDW Web 1.0	18
DLL の削除	19
ファイルおよびフォルダの削除	19

第 1 章 概要

このマニュアルでは、Retek Data Warehouse の Web ベースレポートアプリケーション (RDW Web) のインストール方法について説明します。システム要件、インストールとセットアップ、および MicroStrategy Web 設定が記載されています。

重要:

各 RDW Web リリースおよびパッチ CD には、設定ユーティリティが添付されています。この設定ユーティリティにより、完全な RDW Web インストールが実行されます。RDW Web を最初にインストールするときは、常に最新の RDW Web 設定ユーティリティを実行してください。RDW Web パッチを適用する場合は、既存の RDW Web インストールの上に最新の RDW Web 設定を実行します。

最新の RDW Web パッチ または リリース CD の詳細については、Retek Customer Care (support@retek.com) に E-Mail で問い合わせるか、1-800-61-RETEK (1-800-617-3835) に電話してください。

要件

MicroStrategy バージョン

RDW Web 2.3.2 には MicroStrategy 7.1.6 が必要です。現在のバージョンの詳細については、リリースノートを参照してください。

Retek Data Warehouse バージョン

RDW Web 2.3.2 は、MicroStrategy 7.1.6 プラットフォームで動作する RDW のすべてのバージョンと互換性があります。MicroStrategy 7.1.6 にアップグレードされた RDW の古いバージョンや、MicroStrategy 7.1.6 でリリースされた RDW の新しいバージョンなどです。

データベース

RDW Web 2.3.2 は、MicroStrategy 7.1.6 がサポートするすべてのデータベースプラットフォームで動作するように設計されています。

Web サーバマシン

RDW Web 2.3.2 を使用するには、Web サーバーに Windows 2000 および Internet Information Services (IIS) 5.0 が必要です。さらに、MicroStrategy Web 7.1.6 が Web サーバーにインストールされていること、そして 1 つ以上の Intelligence Server と接続することが必須です。

- MicroStrategy Web のインストール手順およびサーバーのサイズ変更要件については、『MicroStrategy Intelligence Server、Web、Architect、Agent、および Administrator のインストールと設定ガイド - バージョン 7.1』を参照してください。
- Intelligence Server を MicroStrategy Web に接続する方法については、このマニュアルの第 3 章を参照してください。

Intelligence Server マシン

MicroStrategy Intelligence Server 7.1.6 は、Web サーバーとは別のマシンで利用できるようにする必要があります。

サーバーのサイズ変更要件については、『MicroStrategy Intelligence Server、Web、Architect、Agent、および Administrator のインストールと設定ガイド - バージョン 7.1.』を参照してください。

クライアントマシン

RDW Web 2.3.2 が動作するクライアントのブラウザは、次のいずれかの要件を満たす必要があります。

- Internet Explorer 4.01 ～ Internet Explorer 6.0
- Netscape 4.0 ～ Netscape 4.78

重要: サポートされているブラウザの最新バージョンの使用を推奨します。

クライアントが RDW Web のエクスポート機能を使用して Microsoft Excel や Microsoft Word にレポートをエクスポートする場合、これらのアプリケーションの以下のバージョンをクライアントマシンにインストールする必要があります。

- Microsoft Excel 2000 SR-1 または Microsoft Excel 97
- Microsoft Word 2000 または Microsoft Word 97

重要:

Microsoft Excel 2000: Microsoft Excel 2000 には既知の問題があるため、RDW Web エクスポート機能を正常に動作させるには、クライアントマシンに SR-1 をインストールする必要があります。

Microsoft Word 97: RDW Web エクスポート機能を Microsoft Word 97 で使用するには、クライアントマシンに Web Page Authoring (HTML) for Word 97 をインストールする必要があります。

RDW Web から正常にエクスポートできるように Microsoft Word を設定するには、次の手順に従います。

- 1 Word の [ツール] メニューで、[オプション] をクリックします。[オプション] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [全般] タブで、[文書を開くときにファイル形式を確認する] チェックボックスをオンにします。
- 3 **[OK]** をクリックします。

RDW Web から Word 97 にエクスポートする場合、[変換元のファイル形式:] で [HTML ドキュメント] を選択して **[OK]** をクリックします。

サポートされている言語

RDW Web 2.3.2 では、以下の言語が完全にサポートされています。

- 英語
- フランス語
- 日本語

詳細については、RDW Web 2.3.2 リリースノートを参照してください。

ユーザ権限

RDW Web ユーザは、MicroStrategy Desktop User Manager によって作成および管理されます。ユーザには、Desktop ユーザと RDW Web ユーザがあります。ユーザが Administrator または End User として RDW Web に認識されるようにするには、少なくとも以下の権限が必要です。

RDW Web Administrator:

- Web ユーザ
- Web アドミニストレーション
- オブジェクトのセキュリティアクセスチェックをすべてバイパス

RDW Web End User:

- Web ユーザ

必要に応じて、追加のユーザ権限を割り当てることができます。RDW Web インターフェイスは、Desktop を介してユーザに割り当てられた権限に基づいて、表示内容やユーザがアクセスできる機能を決定します。

重要: RDW Web は、MicroStrategy Web API を使用します。MicroStrategy Web API は、基本となる Java オブジェクトを使用して操作を実行します。このため、RDW Web は現時点ではユーザに対する NT 認証をサポートしていません。

RDW Web のアップグレード

RDW Web 2.x

RDW Web 2.x から RDW Web 2.3.2 にアップグレードするには、このマニュアルの第 2 章の手順に従います。

RDW Web 1.0 または RDW EIS

基本となる MicroStrategy Business Intelligence プラットフォームに加えられた変更、およびアプリケーションアーキテクチャに加えられた変更のため、RDW Web 2.3.2 には前のバージョン (RDW Web 1.0 および RDW EIS) との下位互換性はありません。RDW Web ではデータウェアハウスにおけるデータの格納や修正は行われません。タブとフォルダの設定をメモしておき、MicroStrategy 7 へのアップグレードおよび RDW Web 2.3.2 のインストールの実行後に設定を再適用してください。また、RDW EIS または RDW Web の Web ページに対して行われたカスタマイズは、すべて RDW Web 2.3.2 に再適用する必要があります。RDW EIS または RDW Web 1.0 から RDW Web 2.3.2 に移行する場合のシステムのクリーンアップ方法の詳細については、付録 C を参照してください。

第 2 章 RDW Web のインストール

設定ユーティリティの実行

ファイルのインストール

RDW Web に含まれている設定ユーティリティにより、すべての必要なファイルが Web サーバマシンにインストールされます。設定ユーティリティはファイルバージョンと依存性をチェックし、RDW Web に対する設定が適切に行われていることを確認します。

ユーティリティによってインストールされるアイテムは、以下のとおりです。

- RDW Web の Web サイトファイル
- MicroStrategy 7.1.6 配布可能ランタイム環境
- Microsoft XML 3.0
- Microsoft データアクセスコンポーネント

RDW Web 設定ユーティリティを実行するには、RDW Web インストール CD 内の \Installation フォルダの setup.exe をダブルクリックします。

Web サイトの作成

RDW Web 設定ユーティリティは、RDW Web の Web サイトの作成も行います。インストーラを実行するときに特に指定しない限り、IIS の既定 Web サイトの下に rdwwweb という名前の仮想ディレクトリが既定で作成されます。設定ユーティリティは、RDW Web に必要な仮想ディレクトリのプロパティ設定も行います。参考として、これらのプロパティを次に示します。

- [既定ドキュメント] は有効で、login.asp に設定
- エラー 500 の [カスタムエラー] ページ (100 は RDWWWebError.asp に設定)
- [実行権限] は、[スクリプト] および [実行可能ファイル] を実行できるように設定
- [アプリケーション保護] は、[低 (IIS プロセス)] に設定

第 3 章 MicroStrategy Web の設定

RDW Web の旧リリースでは、MicroStrategy Web Administration で生成されたファイルを利用して、接続する MicroStrategy Intelligence Server を識別していました。RDW Web 2.3.2 では、独自にコピーしたファイルを使用して、接続する MicroStrategy Intelligence Server を識別します。つまり、接続する MicroStrategy Intelligence Server を決定するときに、MicroStrategy Web で作成されたファイルだけに依存することはなくなりました。

RDW Web で利用するファイルを次の手順で作成することをお勧めします。

- 1 MicroStrategy Web Administration を使用して、目的の Intelligence Server マシンに接続します。
- 2 MicroStrategy Web で作成された接続情報を含むファイルを、RDW Web で使用するために適切な RDW Web ディレクトリにコピーします。RDW Web 2.3.2 で使用するファイルは、AdminServers.xml という名前で、RDW Web Bin ディレクトリ (既定で C:\Program Files\Retek\RDWeb\bin) に格納する必要があります。

Intelligence Server の接続

MicroStrategy Web Administration を使用して、目的の MicroStrategy Intelligence Server マシンに接続します。

Intelligence Server を接続するには、次の手順に従います。

- 1 Web ブラウザで、[MicroStrategy Web Administration] ページ (<http://<webserver>/microstrategy7/admin>) を開きます。
- 2 [サーバーを手動で追加] フィールドで、Intelligence Server マシン名を入力します。[サーバーを手動で追加] フィールドの隣の **[接続]** をクリックします。
- 3 これで Intelligence Server が接続され、有効なプロジェクトがタブとしてページの上部に表示されます。
- 4 MicroStrategy Web を介して 1 つ以上のプロジェクトにログインすることで、プロジェクトにアクセスできることを確認してください。

重要: 必要に応じて追加の Intelligence Server を接続できます。ただし、Intelligence Server がクラスタ化されている場合、クラスタ化されたノードの 1 つを MicroStrategy Web に接続する必要があります。Intelligence Server のクラスタ化の詳細については、『MicroStrategy Administrator、Intelligence Server、および Web Administrator ガイド - バージョン 7.1』を参照してください。

AdminServers.xml ファイルのコピーまたは作成

MicroStrategy Web で MicroStrategy Intelligence Server への接続を設定したら、C:\Program Files\Common Files\MicroStrategy\Log\WebConfig\ で AdminServers.xml ファイルを見つけて、RDW Web Bin ディレクトリ (既定で C:\Program Files\Retek\RDWeb\bin) にコピーします。

C:\Program Files\Common Files\MicroStrategy\Log\WebConfig\ で AdminServers.xml ファイルが見つからなかった場合は、固有の AdminServers.xml ファイルを作成できます。作成方法については、以下を参照してください。

重要: [MicroStrategy Web Administration] ページを介して接続した Intelligence Server に変更を加えるたびに、AdminServers.xml ファイルをコピーする必要があります。変更とは、Intelligence Server の追加や削除、または Intelligence Server の接続ステータスの変更などです。

AdminServers.xml ファイルの作成

- 1 RDW Web Bin ディレクトリ (既定で C:\Program Files\Retek\RDWeb\bin) にある AdminServers.bak ファイルの名前を AdminServers.xml に変更します。
- 2 以下に示す構造どおりに、このファイルを修正します。

このファイルの構造は、Extensible Markup Language (XML) を使用しており、次のようになります。

```
<SERVERS SBTO="10" RTO="60">
  <SERVER>
    <NAME>IntelligenceServer1</NAME>
    <CONN>Yes</CONN>
    <START>Auto</START>
    <PORT>0</PORT>
    <INI>4</INI>
    <MAX>100</MAX>
    <LBF>1</LBF>
    <MARK>No</MARK>
  </SERVER>
  <SERVER>
    <NAME>IntelligenceServer2</NAME>
    <CONN>Yes</CONN>
    <START>Auto</START>
    <PORT>0</PORT>
    <INI>4</INI>
    <MAX>100</MAX>
    <LBF>1</LBF>
    <MARK>No</MARK>
  </SERVER>
</SERVERS>
```

この XML ファイルに [サーバー] ノードを追加することにより、RDW Web で任意の数の MicroStrategy Intelligence Server を利用可能にすることができます。[サーバー] ノードを追加し、[名前] タグのテキスト値として適切なコンピュータ名を指定します (他のタグの値は変更しない)。

[名前] タグのテキスト値は、MicroStrategy Intelligence Server がインストールされているコンピュータのネットワーク名にする必要があります。ネットワーク名の代わりに、コンピュータの IP アドレスを使用することもできます。

特定の MicroStrategy Intelligence Server を利用できないようにする場合は、[接続] タグのテキスト値を "NO" に変更します。または、コンピュータを表す [サーバー] ノード全体を XML から削除するか、標準 XML 構文を使用してコメントアウトすることができます。

第 4 章 RDW Web の初期化

既定のプロジェクトプロパティの初期化

RDW Web を以下のいずれかのシナリオで実行する場合、RDW Web で使用するためにプロジェクトを初期化する必要があります。各プロジェクトが初期化されるまで、ユーザが固有のユーザ設定を保存できない場合や、新しい RDW Web 機能を利用できない場合があります。RDW Web プロジェクトの初期化は、以下の場合に必要です。

- RDW Web が前のバージョンからアップグレードされている場合
- MSTR 6.x から MSTR 7 にアップグレードされた RDW 2.5、3.0、または 9.1 プロジェクトに、RDW Web がアクセスする場合
- ユーザが作成したカスタムプロジェクトに RDW Web がアクセスする場合
- MicroStrategy の VMall プロジェクトに RDW Web がアクセスする場合

RDW Web を各プロジェクトに対して初期化するには、次の手順に従います。

- 1 プロジェクトの管理者として RDW Web にログインします。既定の URL は `http://<webserver>/rdwweb/` です。
- 2 管理者がプロジェクトにログインすると、RDW Web は必要に応じて自動的にプロジェクトプロパティを設定します。アプリケーションの初期化中は、確認メッセージが表示されます。このプロセスには多少時間がかかる場合があります。初期化が完了すると、RDW Web インターフェイスが表示されます。
- 3 上記の条件に一致した、RDW を介してアクセスされる各プロジェクトに対して、このプロセスを繰り返します。

付録 A RDW Web 設定チェックリスト

チェック事項	✓
要件の確認	
• MicroStrategy バージョン 7.1.6	
• Web サーバマシンの Windows 2000 および MicroStrategy Web 7.1.6	
• Intelligence Server が利用可能	
• クライアントマシンのブラウザおよび Excel/Word のバージョン	
• ユーザ権限	
設定ユーティリティの実行	
• setup.exe の実行	
MicroStrategy Web の設定	
• Intelligence Server の接続	
追加設定	
• AdminServers.xml ファイルを RDW Web Bin ディレクトリにコピーまたは作成	
RDW Web の初期化	
• 管理者としてプロジェクトにログイン	

付録 B よく寄せられる質問

RDW Web の開始ページはどこですか？ 既定 URL を教えてください。

<http://<webserver>/rdwwweb/> または <http://<webserver>/rdwwweb/login.asp>

Internet Information Server のインストールおよびマニュアルはどこにありますか？

IIS 5.0 は、Windows 2000 インストールの一部です。Windows 2000 の初期セットアップ中にインストールされなかった場合は、[コントロールパネル]、[アプリケーションの追加と削除]、[Windows コンポーネントの追加と削除] の順に選択して追加できます。IIS 5.0 のマニュアルは、Web サーバマシンに IIS をインストールした後、<http://<webserver>/iishelp> で参照できます。

ログインしたときにアドミニストレーションフォルダおよびリンクを参照できませんが、なぜでしょうか？

RDW Web Administrator は、MicroStrategy Desktop を介して設定された以下のユーザ権限を持っている必要があります。

- Web ユーザ
- Web アドミニストレーション
- オブジェクトのセキュリティアクセスチェックをすべてバイパス

ユーザが固有のユーザ設定を保存できませんが、なぜでしょうか？

RDW Web は、プロジェクトに対して初期化する必要があります。プロジェクトを初期化するには、第 4 章「RDW Web の初期化」の手順に従います。

マイレポートフォルダや Desktop の \パブリックオブジェクト\レポートフォルダで作成される非表示フォルダは何ですか？

レポートグループは、非表示フォルダとしてメタデータに格納されます。
"RDWWEB Report Groups" 非表示フォルダ内に含まれている個々の非表示フォルダは、レポートグループを表しています。これらの非表示フォルダを削除すると、レポートグループが削除されます。

RDW Web を介してログインできないのですか、なぜでしょうか？

- MicroStrategy Web Administrator を介して、1 つ以上の Intelligence Server が接続されていなければなりません。
- RDW Web の Bin ディレクトリ (既定で C:\Program Files\Retek\RDWeb\bin) に、AdminServers.xml をコピーまたは作成していない可能性があります。第 3 章の説明を参照し、適切な AdminServers.xml ファイルが RDW Web Bin ディレクトリに格納されていることを確認してください。

付録 C RDW EIS または RDW Web 1.0 の削除

RDW EIS または RDW Web 1.0 はいつでも削除できます。RDW Web 2.x をアップグレードするには、このマニュアルの第 2 章の手順に従います。最良の結果を得るためには、RDW Web 2.3.2 をインストールする前に RDW EIS または RDW Web 1.0 をアンインストールおよび削除し、環境をクリーンに保って整合性を維持します。

重要: MicroStrategy 6.X データベースを使用する予定がない場合や、Windows NT Web サーバーを Windows 2000 にアップグレードした場合、これらの手順は必要ありません。

データベースオブジェクトの削除

RDW EIS

RDW EIS テーブル、トリガ、およびシーケンスは、データベースから削除できます。現在の RDW パッチステータスに応じて、これらのオブジェクトはメタデータまたはデータマートの所有者によって所有されます。

SQL Plus などのデータベースツールを使用する場合は、次の手順に従います。

- 1 RDW EIS テーブルの所有者としてデータベースにログインします。RDW EIS テーブルの所有者が不明な場合は、データベースに照会してテーブル `sys_workbench` の所有者を確認します。そのユーザは、すべての RDW EIS テーブルの所有者である必要があります。
- 2 スクリプト `rdweis_drop_tab.sql` を実行してオブジェクトを削除します。スクリプトは、RDW Web インストール CD の `\Scripts` フォルダにあります。

重要: これらのテーブルが複数のワークベンチ/データベーススキーマに存在する場合は、各スキーマの所有者としてスクリプトを実行する必要があります。

RDW Web 1.0

RDW Web 1.0 テーブルおよびビューは、データベースから削除できます。RDWWEB ユーザはテーブルを所有します。各メタデータユーザ (dss91cat_md など) は、ビューのセットを所有します。

SQL Plus などのデータベースツールを使用する場合は、次の手順に従います。

- 1 データベースにメタデータユーザ (dss91cat_md など) としてログインします。
- 2 スクリプト 002_drop_views_rdwwweb.sql を実行してビューを削除します。スクリプトは、RDW Web 2.3.2 インストール CD の \Scripts フォルダにあります。
- 3 各メタデータの所有者に対して手順 1 と 2 を繰り返します。
- 4 RDWWEB ユーザとしてデータベースにログインします。
- 5 スクリプト 001_drop_tables_rdwwweb.sql を実行して、表を削除します。スクリプトは、RDW Web 2.3.2 インストール CD の \Scripts フォルダにあります。

仮想ディレクトリの削除

IIS Internet Service Manager を使用して、以下の仮想ディレクトリを削除します。

RDW EIS

- rdw91 (または rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)
- rdw91help
- rdw91adminHelp
- images

RDW Web 1.0

- rdwwweb (または rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)
- rdwwwebHelp
- rdwwwebAdminHelp
- rdwwwebConfigureHelp
- images

DLL の削除

- 1 Microsoft Transaction Server Explorer を使用して、RDW パッケージの選択および削除を行います。

RDW EIS の場合:

- 2 NT コマンドラインから、rdw91 bin ディレクトリ (`<full path>\mstr6\dssweb\rdw91\bin\` または同等のディレクトリ) に移動し、コマンド `regsvr32 /u rdweis.dll` を実行します。

RDW Web 1.0 の場合:

- 3 NT コマンドラインから、rdwweb bin ディレクトリ (`<full path>\mstr6\dssweb\rdwweb\bin\` または同等のディレクトリ) に移動し、コマンド `regsvr32 /u rdwweb.dll` を実行します。

ファイルおよびフォルダの削除

重要: RDW EIS または RDW Web 1.0 ファイルをカスタマイズした場合には、可能であれば、変更のバックアップコピーを作成し、そのカスタマイズを新しい RDW Web 2.3.2 ファイルに適用します。

Windows エクスプローラを使用して、次のディレクトリおよびその内容 (サブディレクトリなど) を削除します。

\rdw91 または \rdwweb (または \rdw30 など同等の仮想ディレクトリ)